

2023 秋、2024 年春の大会における IFM 及び事前・事後アンケート調査のまとめ
～外国人研究者・留学生からの意見・要望に基づく可能なアクション～

2024/3/21

大会運営

- 1) 学会発表スライドやポスターの英語化の推進
- 2) 学会概要原稿の英語版作成（日本語版と両方提出。自動翻訳ソフト利用など。）
- 3) 座長の人選の際、外国人も候補に入れる。
- 4) 英語のみのセッションやシンポジウムを増やす。
- 5) オンライン大会の場合、同時通訳字幕機能を導入し、日本語から英語、英語から日本語の同時翻訳を可能にする。（Zoom との契約で追加費用が必要）

学会ウェブページ

- 1) 英語サイトを日本語サイトと同等の構造にし、原則としてすべてのページを英語化。
（特に人事公募や賞、助成金、会合などの情報は、必要）

学会誌

- 1) 会誌の英訳版（電子版）の作成
（人事公募や賞、助成金、会合などの情報も重要）

その他

- 1) 物理用語英和辞典の作成（20 年前くらいに培風館から出ているが更新されていない。電子版として再度作りなおすのがよいのでは。留学生にも日本人学生にも役立つ。周年事業の候補となりうる。）
- 2) 発展途上国からの留学生が帰国した後も会員を継続するための補助（例えば年会費や大会参加費を学生会員と同じ金額にする、など。）
- 3) 年次大会のときの外国人会員のための懇親会企画、相互交流のための仕組み作り
- 4) 留学生を含む外国人会員のための「物理学会についての案内」冊子・ウェブページの作成

以上。